日次処理前に翌日の指示データを取り込んだ場合の対応手順

|  |  |
| --- | --- |
| 　対応手順 |  |
| 　MATEXの日次処理設定を変更する日次処理を行うMATEXの日次処理設定を変更することで、「完了」「欠品」以外のステイタスの指示データは削除されないようになります。 |
| 　日次処理設定を変更手順 |
| 1、「システム設定」の「システムパラメータ設定」をクリックします。 | グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション  自動的に生成された説明 |
| 2、「日次処理設定」をクリックし、「出荷実績消去方式」のプルダウン内から「未完データ1ヶ月保持」を選択します。現状は「全てのデータ」が設定されており、この場合、日次処理を行うと、無条件で全ての指示データが削除されます。 | グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, テーブル  自動的に生成された説明 |
| 3、「設定」キーをクリックし、設定変更は完了となります。 | グラフィカル ユーザー インターフェイス, アプリケーション, メール  自動的に生成された説明 |
| 「未完データ1ヶ月保持」設定の場合、ステイタスが「完了」、もしくは「欠品」以外の指示は削除されない為、日次処理前に翌日の指示データを送信してしまった場合でも、気にせずに日次処理をかけても良いこととなります。 |